

# 世界最速クラスの内蔵GPUを採用!! グラボなしでもゲームがサクサク動作



↑Ryzen 8000Gシリーズは、世界最速クラスの内蔵GPUにより、非常に高いゲーミングパフォーマンスを得られる。

「RDNA 3」で進化・高速化  
Socket AM5版のAMD Ryzenでは、これまで内蔵GPUとして「Radeon Graphics」が搭載されてきたが、Ryzen 8000Gシリーズでは一段と強力なGPUが新たに採用されている。それが、Ryzen 7 8700Gの「Radeon 780M」、Ryzen 5 8600Gの「Radeon 760M」、Ryzen 5 8500Gの「Radeon 740M」だ。デスクトップ向けAPUでは初めて「Radeon RX 7000」シリーズGPUと同じ「RDNA 3」アーキテクチャーを用いており、世界最速クラスの内蔵GPUといえる高いゲーミングパフォーマンスを実現しているのだ。またこの進化のおかげで、最新技術「AFMF」(AMD Fluid Motion Frames)を

Ryzen 7 8700Gの場合、フルHD(1920×1080ドット)およびグラフィックス品質「低」設定という条件では、グラフィックスボードなしでも多くのゲームでフレームレートが60fpsを超える。しかも一部ゲームでは競合デスクトップGPU製品よりも高速だ。ブレイヤーは、Ryzen 8000Gシリーズによってより快適なゲーム環境をリーズナブルに手に入れやすくなっているのだ。

## グラボなしでも高いfpsで描画

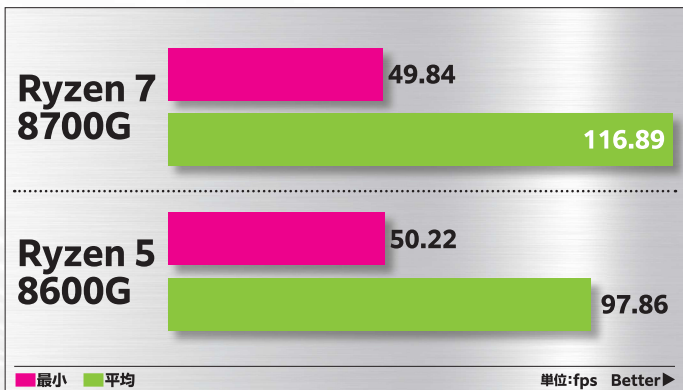
利用できる点にも注目したい。これは、ゲーム映像のフレームとフレームの間にGPUが生成したフレームを挿入することで、フレームレートを向上させる技術だ。利用条件はDirectX 11/12対応ゲームであること、フルスクリーンで表示することの2点だけで、ゲーム側ではAFMFに対応するための開発作業などが必要ない。すでに数千タイトルで利用できる状態になっている。  
またブレイヤーにとつては、管理ユーティリティソフト「AMD Software... Adrenalin Edition」上で有効にするだけで、その恩恵を得られる点もメリットだ。技術の詳細が分からなくても、新機能「HYPR-RX」を示す稲妻アイコンを1クリックするだけで、AFMFの高い効果をすぐに満喫できる。

Ryzen 7 8700GおよびRyzen 5 8600G、32GBメモリー、2TB SSDという環境で計測したベンチマーク結果を掲載だ！ 実際に自作PCを組むときの参考にしてほしい。

## 内蔵GPUの実力をベンチマークでチェック!

BENCH MARK CHECK

BENCH MARK CHECK **F1 23**(1920×1080ドット/AFMF有効)  
DirectX 12対応ゲームも軽快!



↑DirectX 12対応ゲーム「F1 23」では、画質を「超低」、FSR 2は「バランス」に設定。また異方性フィルタリングをオフ。ゲーム内ベンチマーク中のフレームレートを計測した。AFMFを併用することで高いフレームレートをたたき出した。

→「3DMark」では、内蔵GPU向けのDirectX 12用テスト「Night Raid」、DirectX 11用テスト「Fire Strike」、DirectX 12での3D性能を見る「Time Spy」、レイ 트레이シング用テスト「Solar Bay」を利用。内蔵GPUとしては高い数値だ。

BENCH MARK CHECK **3DMark v2.28.8217**  
世界最速クラスにふさわしい高い数値に

